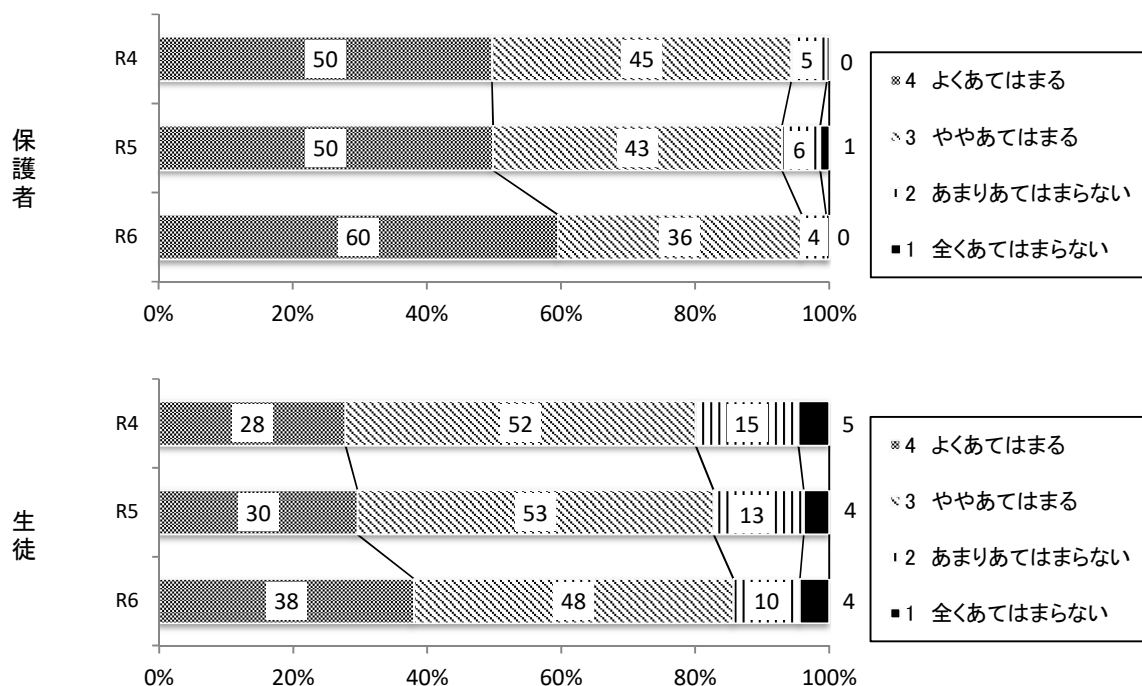


1 学校評価(保護者・生徒) 結果分析 【グラフ内の数値は割合(%)】

(1) 過去3年間の比較

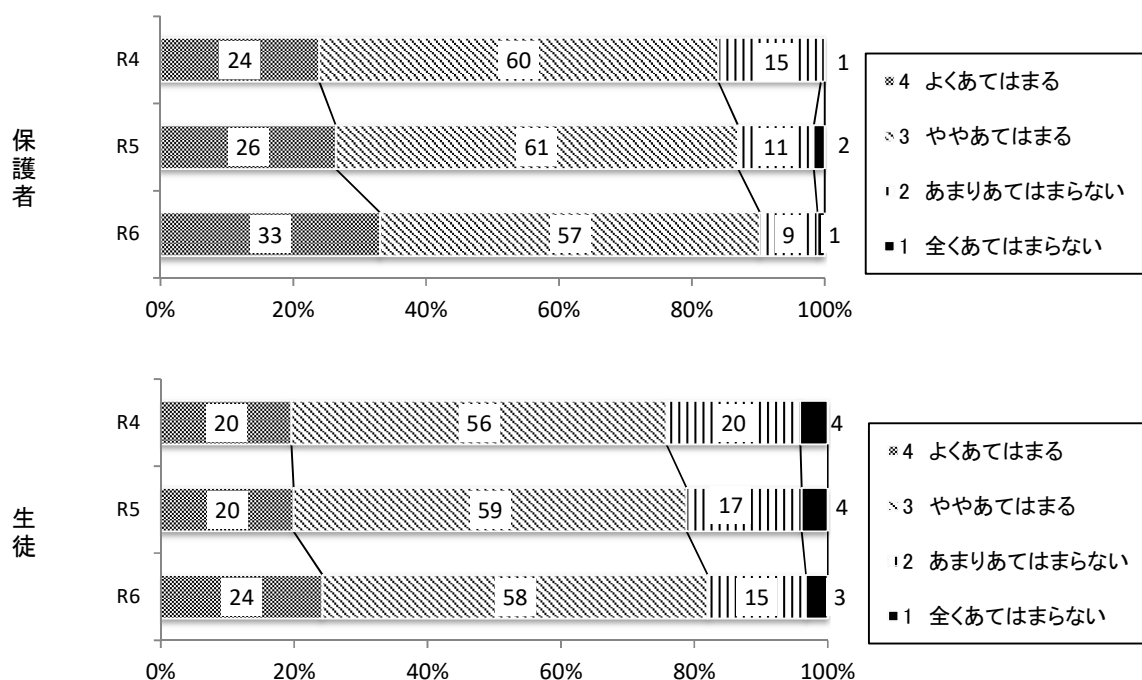
① 鹿児島中央高校に入学させて(入学して)、よかった。

⇒ 肯定的な評価が多いが、保護者と生徒との差が毎年10ポイント程度ついている。今年度、「4 よくあてはまる」の評価が保護者・生徒ともに増えているので、更に伸ばしていけるよう、本校へのニーズを把握し、それに応えていけるような取組をしていきたい。

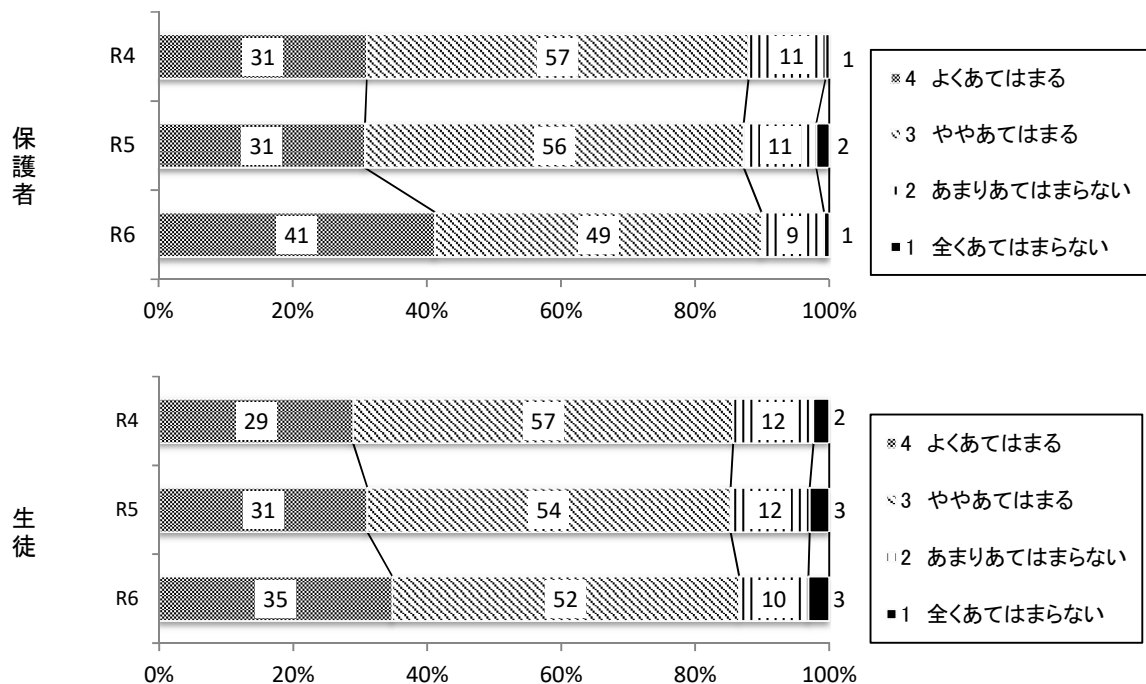


② 鹿児島中央高校は、生徒の個性や学力を伸ばすための教育活動を展開している。

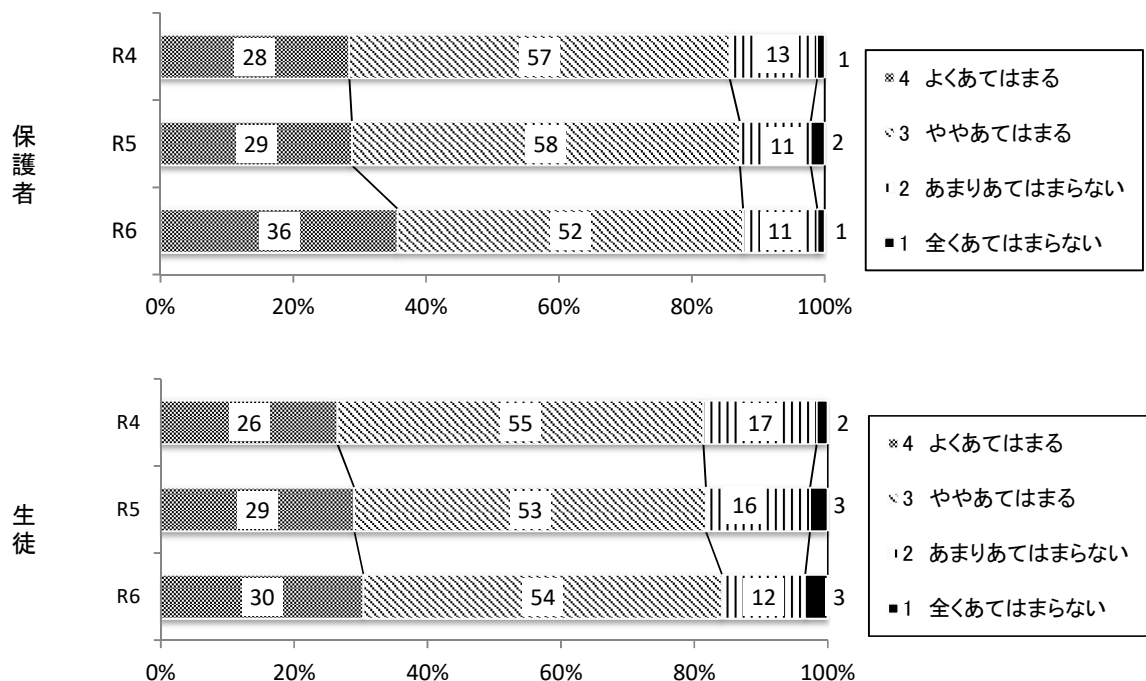
⇒ 肯定的な評価が多いが、他の項目と比べると「4 よくあてはまる」のポイントが高くなく、生徒においては否定的な評価も多い。保護者・生徒に、学校側の教育活動のねらいや内容を的確に発信し伝えられるような工夫が必要ではないか(項目⑥との関連)。



- ③ 鹿児島中央高校は、生徒一人ひとりの進路目標達成のための適切な進路指導を行っている。
 ⇒ 3年間を通じて肯定的な評価が多く、今年度は「4 よくあてはまる」がポイントを伸ばした。一方、否定的な評価も3年間を通じて10ポイント程度の数値が続いているため、保護者・生徒の進路志望を理解するとともに、視野を広げさせていくための取組は今後も継続が必要である。

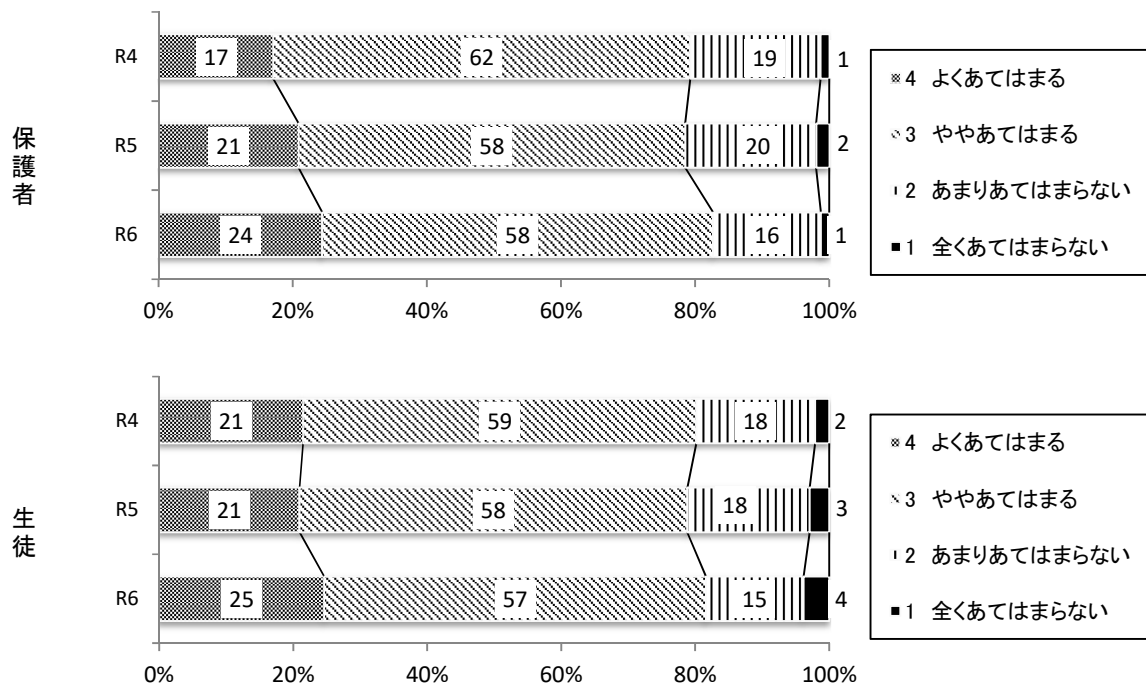


- ④ 鹿児島中央高校は、生徒が学習活動（授業・自宅学習）に熱心に取り組む指導をしている。
 ⇒ 昨年度まで生徒の否定的評価が保護者に比べ少し増加していたが、今年度やや減少した。ICT化を中心とした授業改善を進めつつ、生徒の自宅での学習内容や方法に対しても、さまざまな角度から検討し、きめ細かな指導を行っていく必要がある。



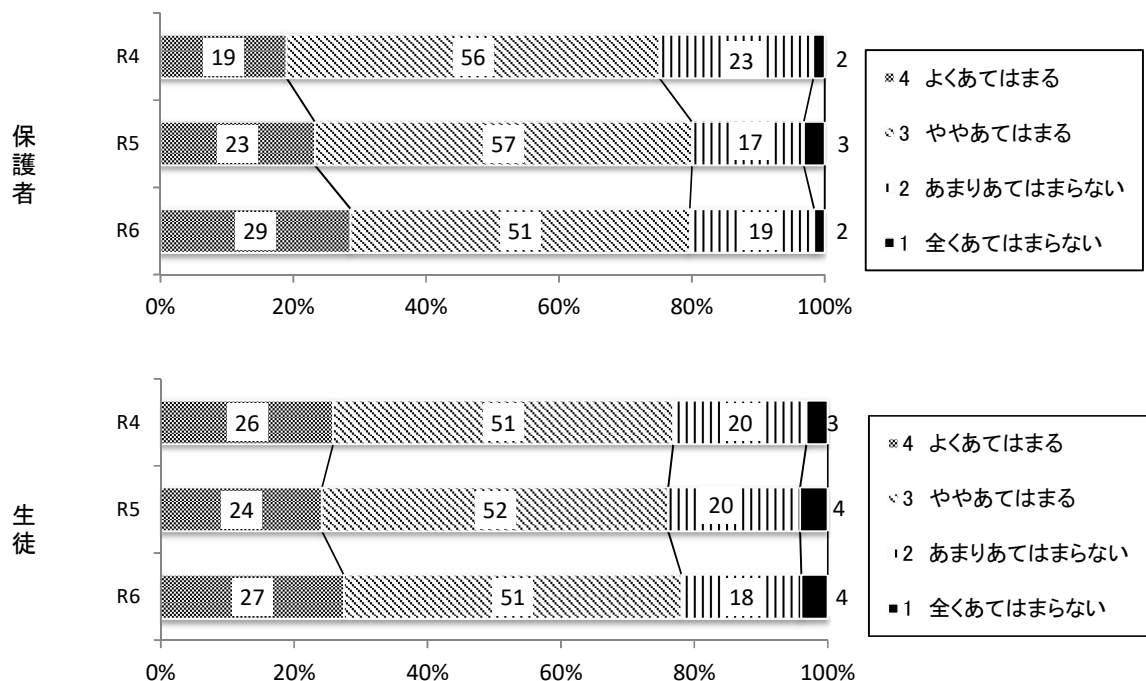
⑤ 鹿児島中央高校の授業は分かりやすく、学力をつけるための工夫がなされている。

⇒ 他の項目と比べ、否定的な評価のポイントが高い数値で推移している。小・中学校での指導のあり方についても留意しながら、ICT活用を中心とした授業改善を進め、生徒個々の状況に応じたきめ細かな学習指導を展開していくための工夫が必要である。

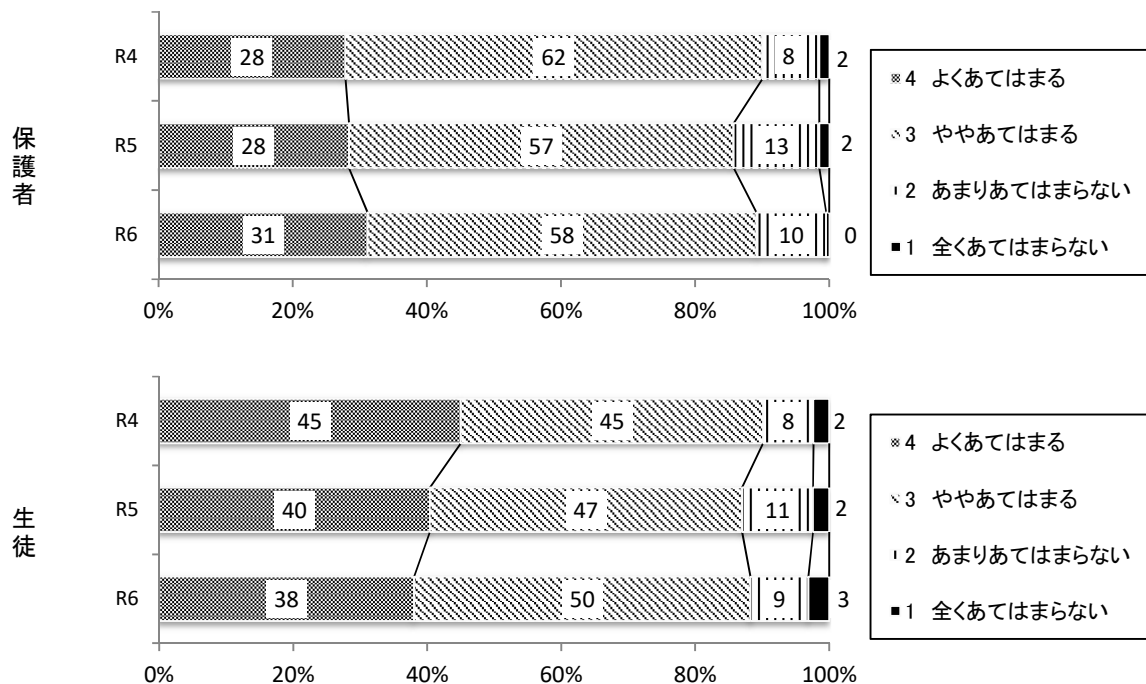


⑥ 鹿児島中央高校は、学校の情報を積極的に家庭や地域へ発信している。

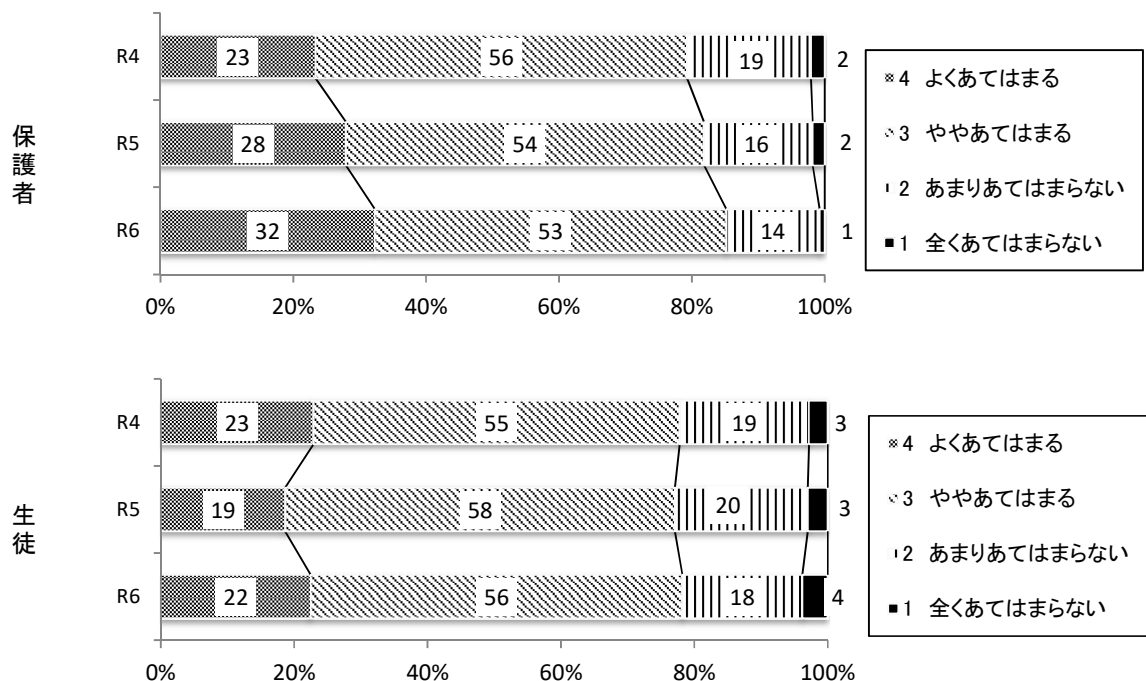
⇒ 保護者・生徒ともに3年間を通じて否定的な評価のポイントが高い項目である。小・中学校や他の高校が実施しているさまざまな形での学校の情報提供のあり方について情報を得ながら、本校における情報発信の方法についての検討を行い、ニーズに応じていく必要がある。



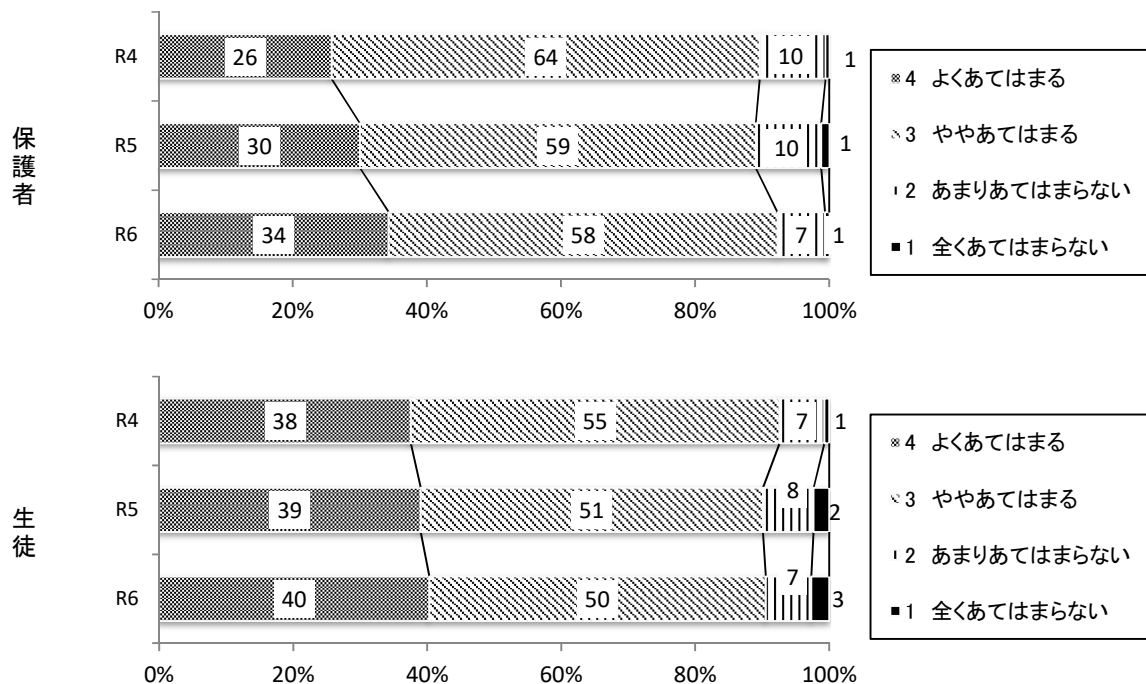
- ⑦ **鹿児島中央高校は、校則や交通ルールなどの規範意識を高める指導をしている。**
 ⇒ 全体としては肯定的な評価が多いが、生徒の「4 よくあてはまる」の評価が年々減少している。自由記述のコメントには校則についての否定的な意見も多くみられるが、今後も規定の必要性を検討した上で合理的な説明を行い、指導への理解を得ていく必要がある。



- ⑧ **鹿児島中央高校には、生徒や保護者が相談しやすい雰囲気がある。**
 ⇒ 昨年度より保護者と生徒との間で「4 よくあてはまる」のポイントの差が生じている。生徒においては否定的な評価が3年間を通じてやや高くなっており、教育活動の根幹をなす評価項目として重く受け止め、相談しやすい雰囲気づくりに努める必要がある。



- ⑨ 鹿児島中央高校は、生徒の生命や安全を守る取り組みを適切に行っている。
 ⇒ 全体的に肯定的な評価が多いが、保護者・生徒ともに否定的な評価も10ポイント程度を推移しているため、生徒へのきめ細かな指導はもちろん、保護者に対する情報発信もより積極的に行っていく必要がある。



- ⑩ 鹿児島中央高校は、生徒にとって学びやすい環境を整えるために、施設の整備に取り組んでいる。
 ⇒ 大規模改修工事によって校舎が新しくなり、全体的に肯定的な評価が多い項目であったが、生徒の否定的な評価が少しずつ多くなっている。保護者・生徒ともに満足度を高く維持できるよう工夫していく必要がある。

